

# 赤ちゃんが生まれます 乳児用チャイルドシート 後ろ向きに取り付け

体重 10kgくらいまで  
年齢 新生児～1歳くらいまで

## ●生まれる前に買しましょう

もうすぐ赤ちゃんが生まれる。新しい家族を迎えられる期待で、幸せの絶頂にいることと思います。でも、病院で出産した後はどうしますか？ 退院するときは、車ですか？ であれば、妊娠期間中に、チャイルドシートを準備しておきましょう。

### 車内抱っこ

抱っこ乗車で退院するのはもつてのほか。赤ちゃんの身体はまだ柔らかくて捕らえどころがなく、初産ならパパママも、赤ちゃんの扱いに慣れていません。上手に抱っこもできない新米パパママが、揺れる車内で、かけがいのない赤ちゃんを守れると思いますか？



### クーハン

赤ちゃんを固定できないクーハン(手揚げゆりかご)での移動もダメ。一見、乳児用のチャイルドシートと変わらないようにも思えますが、全く別物です。チャイルドシートは、事故の衝撃から赤ちゃんを守るために設計された安全装置。クーハンは、そうではありません。



### 車内CRS

赤ちゃんのための乳児用チャイルドシートなら、生まれたばかりの新生児も、安全に車で移動することができます。さまざまな種類があるので、妊娠期間中に勉強して、あなたにあったチャイルドシートを準備しておきましょう。



## ●チャイルドシートの買い替えサイクルを考えましょう

兼用タイプのほうが、長く使えるので人気があります。しかし、単に製品の使用期限だけを考えるのではなく、「買い替えサイクル」を意識したいものです。子どもが一人の場合と将来増える場合とでは、購入するチャイルドシートのタイプも変わってきます。

	乳児 体重10kgくらいまで (新生児～1歳くらい)	幼児 体重9～18kg (1～4歳くらい)	学童 体重15～36kg (4～9歳くらい)	アドバイス
パターン1 3タイプ 買い替え型	乳児	幼児	学童	最終的には、チャイルドシートが3台になるので、子どもが2人以下だと不経済になることも。製品本体は兼用タイプより、専用タイプのほうが軽くて扱いやすくできているのが一般的です。
パターン2 学童期 買い替え型	乳児 兼用 幼児		学童	最も多いパターンですが、きょうだいの年齢が近いと、第二子との使用タイミングが重なり、もう一台買うことになります。学童用は、背もたれつきをおすすめします。
パターン3 乳児期 買い替え型	乳児	幼児 兼用 学童		きょうだいの年齢が近くても、お下がり効率的に使えることが多いパターンです。ただし、きょうだいが3人以上になると、パターン①のほうに車配が上がるかも？
パターン4 チャイルドシート 1台勝負	乳児 幼児 兼用 学童			買い替えの必要がないように見えますが、このタイプを購入するときには、2人め以降のチャイルドシートをどうするか、しっかり考えておく必要があります。「子どもは一人」というご家族には最適ですね。

## ●赤ちゃん用のチャイルドシート、どれを選ぶ？

まずは、乳児用チャイルドシートを購入しましょう。赤ちゃん用のチャイルドシートは、「乳児用チャイルドシート」「ベビーシート」などと呼ばれます。

チャイルドシートは、赤ちゃんの成長に合わせて替えていくのが一般的。乳児用チャイルドシートは、体重10kgくらい(おおむね1歳前後)まで使えますが、タイプによってはそれ以降も使えるものもあります。値段や扱いやすさ、マイカーに取り付けられるかによって、最適な製品を選びましょう。特に、車によっては取り付けられないチャイルドシートもあるので、事前に試着できると安心です。